

サステナビリティ経営

2030年のその先へ
私たちの挑戦は次のステージへ

サステナビリティ基本方針

私たちマルイは、「環境保護」「社会貢献」「経済的持続可能性」の3つの柱に「地域社会・お客様」を加えた4つの視点を基軸に、地域社会とお客様の持続的な幸せを紡ぐ存在であり続けます。※本パートは環境保護を中心にレポート

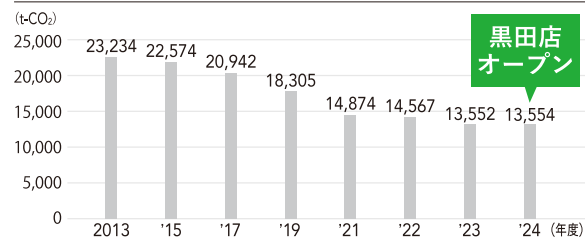
《CO₂排出量削減》

現在のマルイの脱炭素目標は、国の目標値と同じ2013年度比「2030年▲46%」ですが、マルイではより削減を進め「2035年▲60%」を目指しております。

2024年度のCO₂排出量実績(※予定):13,554tCO₂ 2013年度比▲43% ※2024年度の排出係数が公表された際に年度実績確定

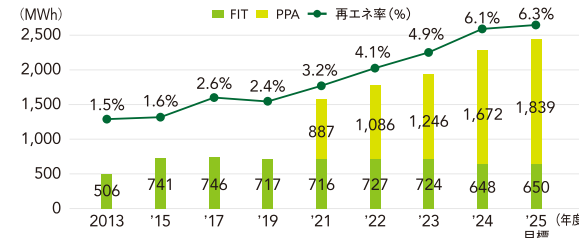
【CO₂削減取組(Score1・2)】

二酸化炭素排出量(総排出量) 2013年度→2024年度(▲43%)



【再生可能エネルギーの取組】

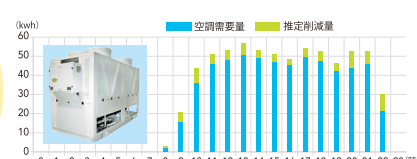
再生可能エネルギー 太陽発電状況 再エネ率は6.1%



1.AIを活用した空調制御システム

デシカント空調:大型2拠点 エナッジAiR:7拠点

AIを活用した
空調制御システム
デシカント空調:
大型2拠点
エナッジAiR:7拠点



2.AIデマンド監視(エナッジ)の活用

主要店舗



3.太陽光発電所 合計19拠点

PPA(自家消費)
9拠点(1,790kW)
FIT10拠点(675kW)



4.エコアクション21 内部監査実施

エコアクション21
内部監査の毎年実施:
全29拠点



《食品廃棄物削減・リサイクル》

食品リサイクル法

食品リサイクル法では、事業者ごとに再生利用等実施率が年度毎に設定されています。マルイでは肉、魚、食用油の再生利用率はほぼ達成している為、現在は食品残渣(野菜くず等)の再利用を重点取組としています。

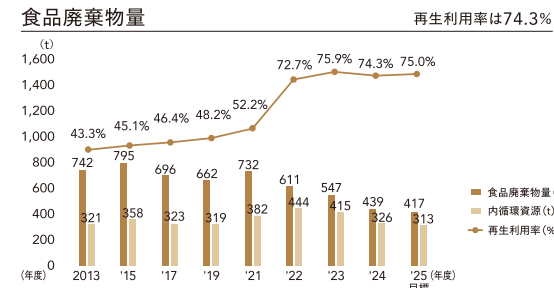
1.食品廃棄物の地域内循環

対象:鳥取市内マルイ店舗 協力:因幡環境整備(株)様、(公財)鳥取市環境事業公社様

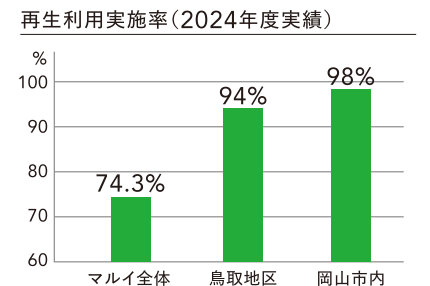
マルイでは、店舗で発生した野菜くずなどの食品廃棄物を回収し、堆肥や液体肥料として再利用する取組を行っています。こうしてリサイクルされた肥料は、野菜の栽培に活用され、鳥取地区の再生利用実施率向上に取り組んでいます。



【食品廃棄物削減・リサイクルの取組】



【マルイの再生利用の取組】



2.メタン発酵バイオガス発電による再生利用

対象:岡山市内わたなべ生鮮館店舗
協力:バイオディーゼル岡山(株)様

わたなべ生鮮館では、回収した食品廃棄物をメタン発酵させて電力をつくる取組を通じて、岡山市内店舗の再生利用実施率向上を実現しています。

受入・処理

吸引状態の建屋で臭気を外に出さないように受け入れます。容器類は破砕し、食品は選別して適切に処理します。



メタン発酵

受け入れた廃棄物を調合し、メタン発酵させます。約30日間でメタンを主成分とするバイオガスに分解されます。



発電

バイオガスをエネルギー源にして発電します。廃棄物の排出事業者様に、再生可能エネルギー由来の電力を供給することも可能です。



3.マルイの環境取組の根幹を支える廃棄物計量システム！

リサイクルベースとなる
マルイの取組

エコアクション21で計量を始めた14年前から23種の分類で毎日計量しています。

ノースランド店 赤澤店長



エコアクション21

2009年から取り組んでいるEA21も15年目を迎えました。2024年はグループのわたなべ生鮮館・エスマートの4拠点が新たに認証を受けました。

2009/環境対策室発足

2015/家庭用古紙リサイクルエコぼす開始

2019/オンサイトPPA太陽光発電開始

2024/エコトレ・エコAPETによるエコトレ宣言サステナビリティ推進室発足

2010/岡山県・鳥取市の小売業で初めての認証取得

2018/美作国電力設立

2021/SDGs推進室発足EA21認証10年表彰

2025/わたなべ生鮮館、エスマートがグループ企業としてEA21認証取得

ECO ACTION21 15years of way



わたなべ生鮮館(前田課長)

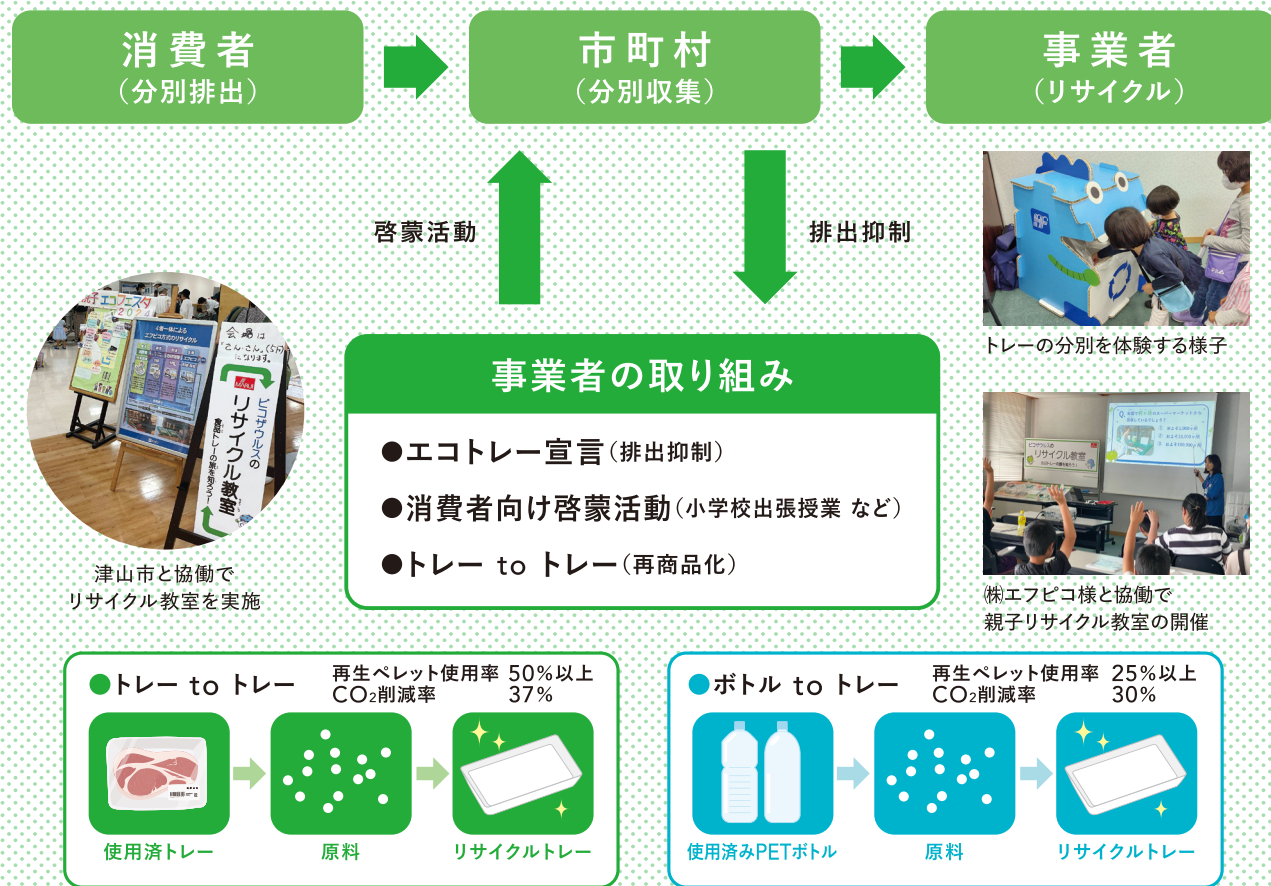
エスマート(本庄部長)

《プラスチック使用量削減・リサイクル》

容器包装リサイクル法

容器包装リサイクル法では、消費者「分別排出」、市町村「分別収集」、事業者「リサイクル」とそれぞれ役割が決まっており、マルイは事業者として地域全体で取組が推進されるように様々な取組をしています。

3者が一体となった取組



■エコトレー宣言

(株)マムハートホールディングス(マルイ、エスマート、わたなべ生鮮館)と(株)エフピコは、「エコトレー」「エコAPET」の積極使用をさらに推進して、地域の皆様と共に環境取組の強化を行うことを宣言しました。
※エコ容器の積極的使用により、プラスチック使用量の削減はもとより、年間204tのCO₂排出を抑制。(14,484本の杉の木が1年で吸収するCO₂に相当)

■マルイのエコ育 ～地域の子供たちと共に環境問題への役割を知る～

地域社会全体で取組む必要がある環境問題に対して、マルイは未就学児から高校生までそれぞれの世代に合った学びの機会を提供しています。



食と自然体験を通じて環境問題に触れる「親子エコキャンプ」



プラスチックリサイクルの仕組みを学ぶ「親子エコフェスタ」



トレイリサイクル、フードロス問題を学ぶ小学校への出前授業



課題探求で環境問題を考える高校4校連携講座

《次世代を見据えた新たな取り組み》
脱炭素に向けたマルイの更なる挑戦1. 最新の脱炭素店舗
1.「黒田店」のポイント!

黒田店は脱炭素店舗でありながら、災害時BCP機能として蓄電池・止水板を備えており有事の際にはシェルターとして稼働いたします。



340KWの大規模太陽光パネル(オンサイトPPAによる自家消費)



蓄電池を導入

停電時5時間バックアップ

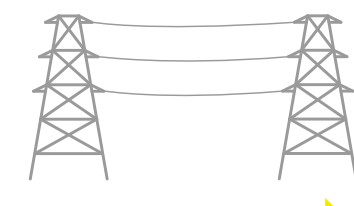
黒田店では停電時、LED照明・ネットワーク機器・レジ周辺機器を約5時間バックアップできる体制となっており、通常通りのレジでの精算や、お客様のスマートフォンの充電等に対応しています。

2. オフサイトPPA

美作国電力が調達したオフサイトPPAによる再生電力を店舗に供給



メガソーラー等から再生電力の調達



送電会社の送電線



オンサイトに加えオフサイトの再生エネルギー供給で脱炭素化を更に加速

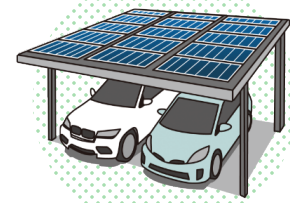


3. EVやソーラーパネル

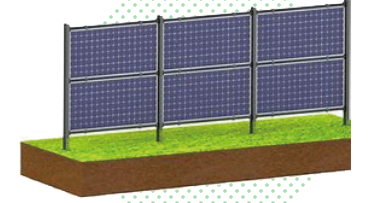
EV・EV充電・カーポート型・フェンス型ソーラーパネルの活用



店舗・本部車両のEV化 併せてEV充電器整備



カーポート型、フェンス型ソーラーパネルで、駐車場、緑地帯・法面等の活用



👉 コー押し

プロセスセンターが「ISO22000」を取得

(株)マムハートホールディングスのプロセスセンターが、2024年10月『ISO22000』を取得しました。『ISO22000』はHACCPをベースに食品安全管理を実践するために、国際標準化機構(ISO)が制定した食品安全マネジメントシステム(FSMS)に関する国際規格です。これにより、今まで以上に取引先様や消費者の皆様の信頼に応えると共に、従業員の意識改革や業務の効率化も図ってまいります。

